

諮問第 196 号 作物統計調査の変更 追加説明資料
(新たな指標の名称について)

農林水産省大臣官房統計部
生産流通消費統計課

＜新たな指標の情報提供＞

作況指数の集計を取りやめることにつきまして、統計委員会及び産業統計部会のご審議において前年との比較だけではなく、中長期的な視点の統計も必要等とのご指摘をいただき、第 135 回産業統計部会（8 月 29 日開催）において、平年収量に替わるものとして前年だけではない過去の収量と比較したデータの提供を行う方針をご説明し、第 136 回産業統計部会（9 月 10 日開催）において、生産現場では前年や直近年の収量と比較している場合が多いこと、さらに、近年の高温による収量への影響を反映する観点から、できるだけ直近年と比較することが望ましいと考え、直近 5 か年から豊凶年を除外した 5 年中 3 年平均を新たな指標とすることをご説明させていただいたところです。

ただ、新たな指標の名称については「作況指数」という名称が、収穫量全体の多い、少ないを表す指標との認識が見られ、報道でも一部「需給の見通しに影響を与えている」といった記載があるなど、作況指数が需給の見通しのベースだという認識もみられる中、その名称については慎重に検討する必要があることから、検討中とさせていただいていたところです。

その後、新たな指標の名称については、

- ・ 収穫量全体ではなく、単位面積（10 アール）当たりの比較（単収の比較）であることをより明確化する
 - ・ 作況指数に替わる出来不出来についての新たな指標であることがわかることにする
- 観点から、「**作況単収指数**」としたいと考えておりますので、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。